

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立循誘小学校
-----	-----------

1 前年度評価結果の概要

- ・朝読書の取組や校内研究での取組により、落ち着いた学習態度で授業に臨むことができた。来年度も朝読書と主体的な学習への取組を継続していく。
- ・心の教育については今年度の取組を継続しながら、道徳科の授業づくりを中心に道徳教育の充実を図っていく。
- ・特別支援教育については、個に応じた支援の更なる充実を図る。

2 学校教育目標 夢をもち 仲間とともに 学びを深める 子どもの育成

3 本年度の重点目標

①思いやりの心をはくくむ教育の推進 ④学校課題への対応強化

②主体的・対話的で深い学びとなる授業の展開

③子どもの自尊感情を高める取組

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

重点取組				中間評価		最終評価			学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標（数値目標）	具体的取組	進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○読書の奨励	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上 ○12月の県学習状況調査において、4、5、6年生の国語と算数を対県比1.0ポイント以上 ○年間貸出冊数(多読賞一低:120冊、中:110冊、高:90冊以上)について、達成率80%以上	・共通実践(学習の振り返りの時間を設ける)を意識した授業実践を行う。 ・自主学習への取組と内容の充実を図る。 ・校内研究の推進を図る。 ・朝読書に全校で取り組む。 ・図書館まつりを中心としたイベントを工夫したり、本の紹介をしたりして、本への興味・関心を高める。							・研究主任 ・学力向上対策コーディネーター ・図書館教育担当	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎学級担任全員が、授業参観において年1回以上道徳の公開授業を行う。 ○「思いやりの気持ちをもって接しているか」について、肯定的な回答をした児童90%以上 ○「学校で楽しく過ごしているか」について、肯定的な回答をした児童90%以上 ○毎月の児童アンケート、2か月に1回の保護者アンケートの実施。 ◎「自分の夢や目標に向かって努力しているか」について、肯定的な回答をした児童90%以上	・児童生徒支援教員と連携を図り、道徳の授業の充実に取り組む。 ・善行紹介「名人紹介」を継続するとともに、質の向上を図る。 ・子ども支援部による情報の一括管理と共通理解に基づいた支援を行う。 ・各種アンケート結果からの早期対応を行う。 ・教育相談時間を設定する。 ・各学年に応じたキャリア教育を充実させる。 ・学校行事や児童会活動を中心に「出番・協働・承認」をキーワードとして、児童の活躍の場を設定する。							・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当 ・児童生徒支援教員 ・生徒指導担当 ・人権・同和教育担当 ・児童生徒支援教員 ・教育相談担当 ・キャリア教育担当 ・特活主任 ・体育主任	
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ○安全に関する資質・能力の向上	○「こまめな手洗いを意識して行っている」について、肯定的な回答をした児童85%以上 ○「防犯ブザーの所持率85%以上 ○避難訓練や交通安全教室の計画的実施 ○「携帯電話等の使用について親子で決めたルールを守っている」について、肯定的な回答をした児童90%以上	・感染症、熱中症対策について、全校で予防法を確認する。 ・保健だより等で注意喚起を促す。 ・防犯ブザーの所持について、下校指導時に各学級で毎日確認する。 ・避難訓練や交通安全教室を計画し、児童の命や安全に対する意識の向上を図る。特に、避難訓練については、予告なし訓練や保護者引渡し訓練を実施する。 ・SNSに関する児童・保護者向け講演会を実施する。また、各学期に1回ずつは情報モラル教育を学級で実施する。 ・学校便りによる保護者への啓発を行う。							・養護教諭 ・保健主事 ・生徒指導担当 ・安全教育担当	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○時間を意識して働いた教職員80%以上	・退勤予定時刻を毎朝記入し、見直しをもって業務を行う。 ・「働き方改革」を継続し、資料・会議等のさらなるデジタル化を進める。 ・長期休業中に業務改善に係る研修会を行う。							・管理職 ・教務主任	

重点取組				中間評価		最終評価			学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標（数値目標）	具体的取組	進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言		
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○研修会を年6回行う。 ○子ども支援会議を年9回行う。	・研修会を実施する。 ・子ども支援会議を開き、情報共有を行う。 ・専門機関との連携を図り、必要に応じてケース会議を開く。							・特別支援コーディネーター	
○社会に開かれた学校づくり	○保護者・地域との連携 ○地域の「人・もの・こと」の活用	○年6回以上の学校公開、月2回の学校便り発行を行う。 ○保護者アンケートを実施する。	・郷土学習を継続し、地域人材の活用を行う。 ・地域行事(ふれあい祭り、文芸賞等)への参加を促す。							・管理職	

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望